

書道パフォーマンス甲子園 in EXPO 開催要項

1. 開催目的

世界中から人が集まる2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）において、書道パフォーマンスの持つ「伝統的な美しさ」、「華やかさ」、「メッセージ力」により、地方創生SDGsの普及・啓発、持続可能なまちづくりの促進を図る。

2. 主催

内閣府地方創生推進室

3. 共催

書道パフォーマンス甲子園実行委員会

4. 開催日及び開催場所

日時 令和7年8月21日（木） 13:00～15:00

場所 大阪・関西万博会場内 EXPOホール「シャインハット」

5. 出場校

- （1）本大会出場校は、本大会への出場を希望する第18回書道パフォーマンス甲子園の本戦順位上位5校とする。
- （2）上記（1）のほか、書道パフォーマンス甲子園の開催地を代表して、愛媛県立三島高等学校。

6. 参加資格（選手）

- （1）令和7年度高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在学中の生徒であること。
- （2）本大会出場に際し、所属する学校長の許可を得た生徒であること。
- （3）本大会出場に際し、所属する学校の教諭（顧問等）がチームを引率できること。

7. チーム編成

- （1）選手は12名、補員3名、顧問等4名以内とし、1校あたり最大19名とする。

8. 作品テーマ

- （1）本大会は、次のテーマに沿った作品とする。

テーマ

地域社会と私たちの未来” Our Community and Future”

9. 演技準備について

- （1）揮毫用紙は、主催者がステンレスポールに貼り合わせた、おおむね縦4m×横6mの書道パフォーマンス甲子園公式用紙を使用する。各学校においては、つや面またはざら面の使用について事前に指定することができる。

- (2) 作品掲示に使用するステンレスポール2本、掲示補助用2本は主催者にて用意するが、演技に必要な筆や墨、小道具などの道具類は各校で準備する。
- (3) 演技に使用する道具類は、パフォーマンス計画書にすべて記載し、主催者の確認を得る。ただし、準備や撤去に時間を要するおそれがある時や、大会の進行に大きな影響を与える恐れがある時は、その道具類の使用を認めない。
- (4) 使用する音源は、事前に申請し、著作権等の関係で使用が認められない場合は、変更を求める。

10. 演技について

- (1) 演技の参加人数は選手登録している2名から12名とする。補員3名について、演技中は演技スペースへの立ち入りを禁止する。
- (2) 演技開始の際、揮毫用紙の上などに物品を置いた状態でスタートすることはできない。
- (3) 演技は「お願いします」の発声で開始し、審査員への作品掲示を行った後、「ありがとうございました」で終了する。なお、作品掲示は作品を審査員へ向けてほぼ垂直に立てた状態をいう。
- (4) 揮毫用紙に別用紙等の貼り付けは行ってはならない。ただし、事前に準備した落款は揮毫用紙へ貼り付けることができる。また、貼り付けを行わない型紙等は使用することができる。
- (5) 霧吹きやはけ等を使用することができるが、カラースプレー缶は使用してはならない。また、時間や距離を計測する道具等を使用してはならない。その他、物品等について個別に指示する場合は、ホームページ等で公表する。

11. 演技時間の計測について

- (1) 演技時間は審査員への作品掲示時間15秒を含め6分以内とし、それを超えた場合は罰則の減点を行う。なお、演技中に主催者のトラブルなどによって演技時間が6分を超えた場合などは、審判がその取り扱いを判断する。
- (2) 演技時間の計測は「お願いします」の言い終わりから開始し、「ありがとうございました」の言い終わりまで終了する。それぞれの計測起点で計測員が白旗を掲げる。2回続けて発声する場合は、2回目の言い終わりを計測の起点とする。
- (3) 演技開始の発声以前に音楽のスタートやパフォーマンスの動きがある場合は、その時点を計測の起点とする。ただし、その場合は、事前にパフォーマンス計画書にその旨を記載する。
- (4) 審査員への作品の掲示時間は、作品がほぼ垂直に立てられた時点から時間を計測し、15秒とする。計測開始と同時に計測員が黄旗を掲げ、15秒が経過した時点で黄旗を下ろす。
- (5) 審査員への掲示時間が15秒に満たず、作品の状態が大きく崩れたときは、掲示時間の計測を一時停止し、作品を再度立て直した時点からの残りの時間を計測する。
- (6) 掲示の際に作品が破損した場合についても、審査員への掲示は行い、作品の掲示時間15秒は計測する。
- (7) 演技終了後の発声は、作品を立てた状態でも、下ろした状態でもかまわない。

- (8) 開始や終了の発声の時、また演技終了後においてパフォーマンスや揮毫を行ってはいならない。また、審査員への掲示時間中は、揮毫を行ってはいならない。

12. 罰則事項

- (1) 演技時間が6分を超えた場合は、審査得点から10点を減点する。
 (2) 揮毫用紙に落款以外の用紙等を貼り付けた場合は、審査得点から10点を減点する。
 (3) その他、違反があると認められる場合は、審判の判断により減点または審査対象から除外する。

13. 表彰

- (1) 表彰は優勝、準優勝とする。

14. 審査

- (1) 審査員は下記の5名とする。

【審査員】

審査員名	肩書
中山 秀征	タレント、司会者、俳優
DJ KOO	DJ、音楽家、タレント
TAKAHIRO	歌手、俳優
紫舟	書道家、藝術家
青柳 美扇	書道家、アーティスト

- (2) 審査項目は下記の5項目とし、各審査員がそれぞれ1項目を担当する。

【審査項目等】

審査項目	配点	審査内容
技術力	20点	書の美しさ、文字表現の美しさの評価
紙面構成	20点	紙面全体のバランス、一体感の評価
テーマ性	20点	テーマとの整合性、選択した言葉の評価
パフォーマンス力	20点	表現力、パフォーマンスの評価
総合評価	20点	書道パフォーマンスとして魅力度

- (3) 審査得点の合計は100点とし、最も高い学校を1位とする。審査得点が同点の場合は、審査員の多数決により順位を決定する。

15. その他

- (1) 参加に係る費用負担については、万博会場までの交通費（宿泊場所から会場までの移動費を含む）及び宿泊（前泊）にかかる経費は主催者が負担する。
 なお、移動手段については、事前に主催者と協議すること。

- (2) 大阪・関西万博に入場するための入場パスは主催者にて発行する。ただし、本大会の開催により付与する入場パスは、本大会の関係者に発行するパス（AD証）となるため、他のパビリオンの見学はできない。
- (3) 万博チケットについては、選手が万博を体感し、保護者が応援に来場できるよう、EXPO 大会に出場する各学校にユニ・チャーム（株）から寄贈された40枚を提供する。
- (4) その他、本要項に記載されていない事項は主催者で決定し、HP等で公表する。